

令和7年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%			○		
算数	58.0%	○				
理科	57.1%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%	○				
我が国の言語文化に関する事項	81.2%					○
話すこと・聞くこと	66.3%		○			
書くこと	69.5%	○				
読むこと	57.5%				○	

【考 察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができています。今後も、文章の中で適切に漢字を使おうとする習慣を身につけさせていきます。
- 「情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」の領域において全国平均を下回りました。特に、「書くこと」の領域において、「事実と感想、意見とを区別して書く」ことに課題が見られました。今後は、授業の中で、自分の考えの根拠を書くことや、友達と書いた内容を推敲するなどの活動を取り入れ、課題の改善に取り組みます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%		○			
図 形	56.2%	○				
測 定	54.8%	○				
変化と関係	57.5%	○				
データの活用	62.6%		○			

【考 察】

- 基礎・基本の確実な定着を図るために、数値や式の意味について考えさせたり、適用問題の時間を確保したりするなど、指導の工夫を図ります。また、反復練習にも積極的に取り組ませていきます。
- 「変化と関係」の領域では、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出す問題の正答率が全国平均を下回りました。日常の具体的な場面と関連づけて理解させるとともに、理解したことを友達に説明する活動を取り入れていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%				○	
粒 子	51.4%			○		
生 命	52.0%	○				
地 球	66.7%		○			

【考 察】

- 「エネルギー」の領域では、電流がつくる磁力について、電磁石の強さはコイルの巻数によって変わることが理解できています。今後も、実験などを行い、知識を獲得できるよう学習を進めていきます。
- 「生命」の領域では、ヘチマの発芽する条件や顕微鏡を操作するための技能の問題が全国平均を下回りました。実験結果を基に自分の考えを文章にまとめる機会を増やすとともに、実験器具の正しい扱い方を身につけられるよう、繰り返し指導していきます。